

令和3年2月25日

世田谷区立喜多見小学校
校長 小俣 和也 様

世田谷区立喜多見小学校
学校関係者評価委員会
委員長 坂本雅則

令和2年度 学校関係者評価 報告書

喜びが溢れる学校を目標に、子どもたち一人ひとりにご尽力されていますことに評価委員会を代表し、心から感謝申し上げます。

このたび行いました「令和2年度 学校関係者評価」について下記の通りご報告します。

【学校関係者評価の目的】

保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された学校関係者評価委員会が行う評価を言います。コロナ禍による人との接触や学校や家庭での生活環境の変化もあり、次年度に向けても評価の見直しも検討していきたい。

【令和2年度 評価委員会の総括】

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、休校期間や子どもを取り巻く環境が大きく変化した。そこを踏まえ、アンケート結果から以下のような意見が出た。

- ・学校生活が楽しいと児童から昨年度より14%ポイントが上がったのは校長先生をはじめ、教職員の方々のご尽力の結果だと思われる。
- ・言葉遣いや挨拶について否定的な回答が多かったが、改善していくためには学校だけではなく、家庭でも普段から気持ちの良い挨拶や言葉遣いについて子どもと話し合う機会を設けてほしい。
- ・家庭学習については保護者側の勉強をさせる意識も持ってほしい。今後、児童全員にタブレットが貸与されるので、楽しく家庭学習をするきっかけになると良いと思う。
- ・学校の重点目標が明確であるについては否定的な回答が4割近かった。理由として、保護者が学校へ来校する機会が減ったことが要因と考えられるが、学校側の伝える方法を考えることも必要。
- ・「喜多見の学び舎」の活動に関しては、5年生から中学をイメージできる取り組みができると、進路選択にも役立つと思う。リモートでの交流など取り入れられると良いと思う。
- ・アンケート回答項目も喜多見小学校独自の評価項目を加えることで、より一層現状の問題点へ踏み込んで改善策へ取り組みことが出来ている。

最後に、子どもたちがこれからの時代に必要な力を身につけられるよう今後もサポートしていきたい。